

泌尿器科研修カリキュラム

研修目標

1 一般目標

3ヶ月間の研修は、アツという間に過ぎてしまう。医学部時代の臨床実習とは違い主体的に行動し、将来他科に進んでも、泌尿器科に進んでも役立つような基本的な知識・技術の習得を目標とする。

- 1) 医師としての基本的な診療手技を身につける。
- 2) 泌尿器科の一般的な疾患およびその検査・治療を理解する。
- 3) 泌尿器科の基本的診察法を習得する。
- 4) 導尿、カテーテル留置、膀胱洗浄などの基本的手技を習得する。

2 行動目標

(1) 基本的な泌尿器科診療能力

- 1) 泌尿器科の一般的な疾患およびその検査・治療の理解
- 2) 問診および病歴の記載

患者を前にして、必要な情報を聞き出し（問診）、カルテに記載し、その後の方針を計画する。

3) 泌尿器科診察法

- ①視診（一般的視診および陰部の視診）
- ②触診（腹部および陰部の触診）
- ③前立腺診

(2) 基本的泌尿器科臨床検査

泌尿器科診療に必要な検査を理解し、基本的な検査は実施あるいは依頼し、結果を評価して患者・家族に解りやすく説明することができる。検査は症状や病態によって必要最低限にできる。また検査による侵襲・副作用や、その対処法も理解する。

- 1) 尿検査やPSA検査が病態と関連づけて解釈できる。
- 2) 内視鏡検査（膀胱鏡）
- 3) 超音波検査（尿路系の超音波検査が実施でき、解釈もできる。）
- 4) 放射線学的検査、特に尿路造影を実施し、読影できる。造影剤の副作用を理解し、対処ができる。

(3) 基本的治療法

1) 処方箋の発行

基本的な薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療ができる。

2) 注射の施行

皮内、皮下、筋肉、静脈、（中心静脈）などの注射法を理解し、実施できる。

3) 手術助手または術者の経験

4) 基本的処置

男性、女性患者の導尿および尿道カテーテル留置ができる。

5) 各種ガイドラインや癌取り扱い規約の理解

研修方略

研修スケジュール

1. 3ヶ月研修を基本とする。

指導医によるオリエンテーション後、週間スケジュールに沿って、研修する。当科では、泌尿器疾患特に癌の手術治療を軸としているが、小児から高齢者までの泌尿器疾患全般が対象となる。一般病院の特徴を生かして、臨床を通して、じかに患者さんに触れながら、研修をしてほしい。

2. 週間スケジュール表

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	術前処置 病棟回診	尿路造影 外来処置	術前処置 病棟回診	病棟回診
午後	内視鏡検査	手術 術後検討会	内視鏡検査	手術 術後検討会	内視鏡検査

備考）手術カンファレンスやレントゲン読影カンファレンスなどは適宜行う。個人の希望を最大限尊重したい。

研修評価

研修評価は、研修修了時（～その1ヵ月以内）担当指導医が、EPOC-オンライン評価システムにて評価する。最終評価は、まつもと医療センター病院群臨床研修管理委員会での委員会規定に基づいて行う。

<指導医>

小宮山 斎（昭和61年卒） 泌尿器科学会専門医・指導医

井上 博夫（平成5年卒） 泌尿器科学会専門医・指導医